
悪魔戦争

将棋男

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

悪魔戦争

【Nコード】

N5498K

【作者名】

将棋男

【あらすじ】

悪魔と人間が起こす戦争の物語

プロローグ（前書き）

はじめまして、将棋男です。
よろしく願います。

プロローグ

世界には二つの強者がいた。ひとつは人間…もうひとつは……。そう、悪魔だ。悪魔は世界をわがものにするため人間たちに戦争を挑んできた。

悪魔は恐ろしく強く、近現代の装備を整えた軍隊でさえも手が出せないほど強かった。

しかし、そんななか悪魔に対抗し続ける者達が三人……。

この世界で使えるものはいないといわれた。魔法や必殺技でさえも使いこなす奴らだった。

悪魔と、人間たちの戦いにたった三人で意義を唱えた。

悪魔と人間は仲良くすべきだ……!! 争っていても始まらないと……彼らの目的はひとつ……世界を一つにすること。

プロローグ（後書き）

次回、第一話更新！！

第一話 海賊船

物語は、三人では始まらない。

まだ、人間たちが悪魔たちの存在に気付いていなかったころから始まる。

当時の、人間たちの敵は悪魔ではなく海賊だった。

中でも、海の覇者と呼ばれたシャドウ海賊団は皆から恐れられた。

シャドウ海賊団は、海は勿論：大陸までもその権力がいきわたっていた。

船員は十万人とも百万人ともいわれ、それに叶う実力の持ち主はいないといわれた。

しかし、その海賊にも立ち向かう者がいた。

彼の名はマキシム。遠い山奥で産まれた為、海賊の手は及んでいなかった。

だが、彼が十五歳のとき港町に行って海賊とであう。

次々に、店や家を襲い人を傷つけていく海賊をマキシムは許せなかった。

マキシムは、襲っていた海賊に向かって殴りかかった。

しかし、それは無謀といわれても仕方のないことだった。

何も装備もしていないし、実戦経験のないマキシム。

あいては、天下とも言われたシャドウ海賊団。結果は目に見えていた。

あっという間に、船員に取り囲まれたマキシムは取り押さえられた。

そして、海賊船の中にある牢屋に入れられてしまった。

しかし、マキシムはあきらめていなかった。

ここから、脱走し海賊団と闘おうと考えたのだった。

まず、ここから出るためにはどうしたらいいか考えた。

ここは、船の中なので海に出られるのではないかと……。

そう思ったマキシムは、早速海続く壁をブチ壊そうとした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5498k/>

悪魔戦争

2011年1月3日21時55分発行